



真

バイリンガル子育ての ヒント

vol.7

『何のためのバイリンガル教育？』



自分がしていることの意義を確信していればいる程、苦勞は苦勞でなくなり、努力がしやすくなります。日本語教室の宿題のことで親子げんかになる。テストの点が悪くて心配だ。漢字を覚えてくれないで困る。そんな時、そもそも何のためにバイリンガル教育をしているのか思い出してみると、違った見方ができるかもしれません。様々な理由があるでしょう。

- 1 日本語しか話せない親戚と話することができるように
- 2 将来日本に引越すつもりだから
- 3 日本で大学に行ったり、就職したりできる選択肢を子供に与えるため
- 4 日本人としてのアイデンティティーを持って欲しいから
- 5 日本の文化を受け継いで欲しいから

1、2、3は生活に根ざした現実的な理由。これに対し、4と5は子供の人格形成を考慮に入れた、奥の深い理由です。

4の場合、日本人としての健全なアイデンティティーを持つて欲しいのであれば、片言ではなく、かなり高い日本語力が必要です。日本人としてのアイデンティティーを持つということ、日本人として日本文化を深く理解して自分も日本人であるということ、肯定的に捉えるということだからです。日本語しか話せない日本人達の所に行つて自分が片言しか話せなかったら？彼ら、彼女らとコミュニケーションを取り、彼らを理解し、好きになることは難しくなります。

力の文化が全てではないことに気付くことです。一つの言語、一つの文化の中で育つと、それが全ての様な錯覚を起こします。世界でも影響力の強い英語、アメリカ文化であれば、なおさらです。世界には異なる考え方をする人もいます。異なる文化から学べることもあります。アメリカの考え方が全てにおいて一番ではないことに気付くこと。日本語、日本文化を学ぶことは、異文化を理解できる寛容な精神を育てる第一歩にもなります。

この様に、バイリンガル教育をする理由は人それぞれですが、まずは親である自分が納得の行く意義を見つけること。そして子供がある程度の年齢になったら、その意義を子供と共有すること。それができれば、バイリンガルへの道も、苦勞ではなく楽しみになるはず。



宮崎 直子

津田塾大学英文科卒、イリノイ大学アジア研究科(日本語教育、言語学専攻)修士課程卒。ことば+カルチャー (kotobaandculture.com) 代表。

